

日本鐵鋼協會記事

理事會 (昭和 11 年度第 7 回)

開會日時 昭和 11 年 8 月 5 日 (水) 午後 5 時
 出席者 水谷 叔彦 吉川 晴十 俵 國一 河村 颯
 第 16 回講演大會副委員長井上克巳

協議事項

- 第 16 回講演大會開催準備に關する件 (決定)
 - プログラム編成
 - 實行委員役割
- 日本工學會より割當の第三回工學大會費の件 (承認)
- 事務員 (鐵鋼要覽編纂事務擔當) 日下宗基氏採用 (8 月 1 日)
- 毎年 8 月末現在の半期決算調製提出の件 (本年より實行)
- 入退會者及び會員異動に關する件 (自 7 月 2 日至 8 月 5 日)
 - 入會承認 正會員 3 名 准會員 17 名 計 20 名 (氏名別項)
 - 退會承認 正會員 3 名 准會員 2 名 計 5 名
 退會者氏名 正會員 ペルンハルトブルデウイック (歸國)
 日本鑄鋼所 (維持會員に轉更) 眞田玄次郎
 准會員 木尾 一雄 雲雀隆二郎

報告事項

- 工學會評議員會議事報告 (7 月 13 日)
- 昭和 11 年 6 月中會計報告
 以上審議し午後 7 時 30 分閉會す。

編輯委員會 (昭和 11 年第 5 回)

開會日時 昭和 11 年 7 月 28 日 (火) 午後 5 時
 出席者 水谷會長 吉川理事 委員 五百旗頭啓 田中清治
 長尾武雄 山田良之助 鹽澤正一 廣瀬政治

協議事項

- 第 16 回大會プログラム案編成
- 鐵と鋼第 10 號論文原稿選定

決定原稿

- 鐵の瓦斯吸收に於ける處女性に就て { 岩 瀨 三 治 郎
 福 島 三 慶 政
 三 永 澤 清
 永 澤 清 恒
 錦 織 城 正
 磐 萩 原 藤 田
 後 藤 十 嵐
 麻 田 兵 中
 - 鋼の低温脆性の原因に就て
 - タングステン鋼の燒割れ原因と其防止法
 - 鋼塊残留應力測定之二三
 - マグネシウム合金に防蝕膜を作る方法
 - 新耐蝕性マグネシウム合金
3. 鐵と鋼第 8 號上掲原稿決定
 以上審了し午後 7 時 30 分散會

新 入 會 者 氏 名

居 所 又 は 宛 名 先	勤 務 先 又 は 職 業	會 員 別	入 會 者	紹 介 者
府下北多摩郡武藏野町吉祥寺五六九 (吉祥寺二六四)	法學士 日本製鐵株式會社販賣部長	正 員	北 村 保 太 郎 君	景 山 齊 介 山 縣 愷 清 田 中 松 重 太 郎 村 弘 村 松 橋 武 人
大阪市北區堂島濱通二ノ一四	日本鑄鋼所取締役	〃	奥 村 福 次君	〃
大阪市住吉區丸山通二ノ一九 (天下茶屋三八〇〇)	工學士	准 員	小 川 宜 孝君	横 山 武 人
堺市九間町西一丁堺市 金屬工業研究所	〃	〃	小 乙 川 昇君	石 川 薰
廣島縣賀茂郡廣村 廣海軍工廠造機部	技 師	〃	西 福 元 茂君	逸 見 行 雄
神戸市葺合區脇濱町 川崎造船所製鐵工場厚板課	滿洲住友鋼管株式會社	〃	小 林 昇君	吉 田 幸 吉
滿洲國鞍山南八條町一七 住友日新寮	主 任	〃	野 田 正 己君	村 松 橋 太 郎
八幡市八幡製鐵所條鋼部第一製條課第四大形工場	〃	〃	山 下 數 夫君	石 川 薰
廣島縣賀茂郡廣村廣海軍工廠造機部	日本特殊鋼管株式會社	〃	太 田 孟 志君	梅 津 七 藏
板橋區板橋町一ノ二四八八、三輪嘉兵衛方	〃	〃	谷 壬 吉君	〃
板橋區板橋町二ノ一三四 鈴木康之方	工學士 北寧鐵道唐山工場	〃	谷 七 石 志 中君	萩 原 三 平
中華民國北寧鐵道 唐山工場	京大、工、冶、學生	〃	池 田 正君	西 村 秀 雄
京都市下京區東洞院五條下ル和泉町	九州帝大、工、冶學生	〃	佐 藤 弘君	谷 村 濤
福岡市馬出町三角	吳海軍工廠製鋼部	〃	初 鳥 越 夫君	大 畑 宇 治 郎
吳市八幡通二ノ三三 尾木栗三郎方	〃	〃	戸 倉 政 雄君	野 上 熊 二
茨城縣日立町 日立製作所鑄工係	早 大 工學士 日立工場鑄工係	〃	本 條 史 郎君	〃
茨城縣日立町 宮田芝内合宿所	工學士 淺野造船所製鐵部	〃	相 原 辰 雄君	江 口 喜 一
横濱市磯子區杉田町一一五	〃	〃	服 部 三 郎君	松 良 正 一
名古屋市南區熱田東町字内濱九六 服部製鋼所	工學士 東京瓦斯電氣工業會社鑄物工場	〃	西 良 夫君	佐 藤 知 雄
大森區新井宿四ノ九九五	〃	〃	〃	〃

死 亡 者

本會正會員 石澤命知君が 8 月 13 日逝去せらる 洵に痛惜の至りに不堪茲に謹んで弔意を表す